

## 2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 1 月 31 日作成)

|                              |   |  |
|------------------------------|---|--|
| 小委員会名                        | 連続体構造小委員会   | 主 査 名：高山 誠<br>就任年月：2004 年 4 月  |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 構造委員会<br>(シェル・空間構造運営委員会)  | 委員長名：和田 章<br>主 査 名：大森博司  |
| 設 置 期 間                      | 2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月   |  |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(簡条書き) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・シェル・空間構造の中で、連続体構造として代表的なコンクリート系連続体シェル構造を対象として、</li> <li>・数値解析との比較検証や設計に際しての参考資料としての利用の便を図るため、これまでに蓄積された膨大な実験データのデータベース化の推進</li> <li>・実用的な設計法の確立を目指して、実験データと解析理論・数値解析モデルとの比較および検証</li> </ul> |  |
| 委員構成<br>(委員名(所属))            | 委員公募の有無：無<br>今川憲英(東京電機大) 神園勝彦(日大) 佐々木睦朗(法大) 高山誠(金沢工大) 登坂宣好(日大) 西村敏雄(日大) 原隆(徳山高専) 前田寿朗(早大) 真下和彦(東海大) 三井和男(日大) 皆川洋一(鹿児島大) 武藤厚(名城大) 八木孝憲(太陽工業) 堀 直人(国土館大)  |  |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | 鉄筋コンクリート系厚肉床壁構造設計施工法 WG：連続体構造小委員会では、シェル空間構造の中で連続体構造として代表的なコンクリート系連続体シェル構造の実用的な設計法の確立を目指している。コンクリート系厚肉床壁構造物の需要は多く、これらの構造の性能評価や実用的設計法の確立は必要かつ急務である。   |  |
| 2007 年度予算                    | 80,000 円  | ホームページ公開の有無：有<br>委員会 HP アドレス：<br><a href="http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s13/newpage.htm">http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s13/newpage.htm</a> |

| 項 目                            | 自己評価  |
|--------------------------------|---|
| 委員会開催数                         | 4 回(年度内計画を含む)   |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は除く)          |   |
| 講習会                            |   |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)  |   |
| 大会研究集会                         |   |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等             |   |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1．作成したホームページを更新した。<br>2．実用的な設計法の確立を目指して、実験データと解析理論・数値解析モデルとの比較および検証について、具体的な実験計画を策定した。<br>3．3 研究室で実験を行った。 |
| 委員会活動の問題点・課題                   | 1．ホームページによる更なる実験データの収集。<br>2．実験データと解析理論・数値解析モデルとの比較。  |